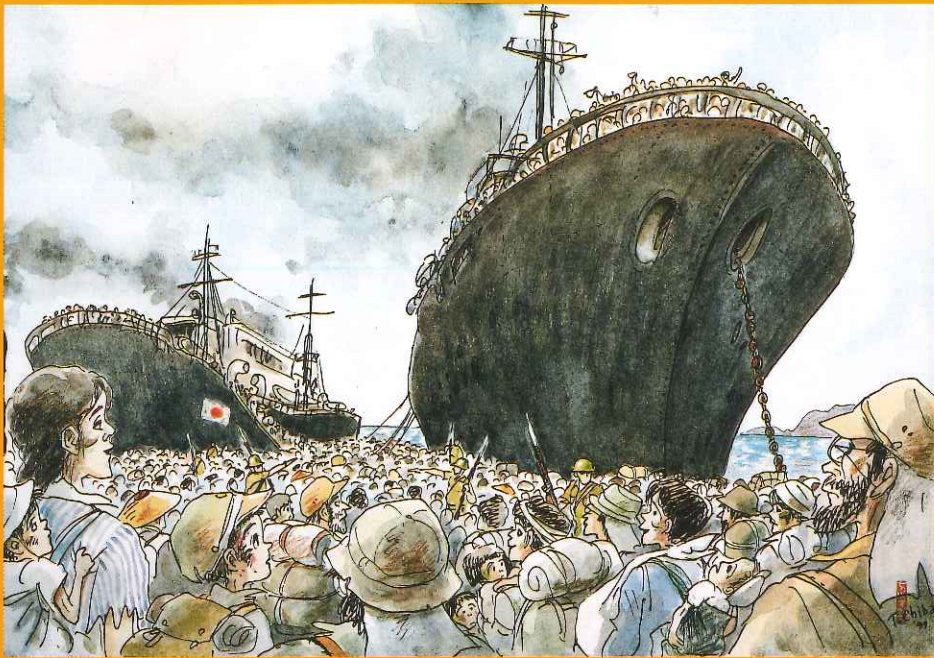


戦争体験者の労苦を伝える

さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者が体験した労苦を物語る資料の展示を通して、忘れてはいけない想いを未来へつなぎます。



「引揚船は大きすぎてくまなく見えた」すほでつや画

兵士コーナー

臨時召集令状
(赤紙)



戦後強制抑留コーナー

両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



海外からの引揚げコーナー

亡くなった赤ん坊のおむつで作った子ども用ワンピース



特別展示

岐阜県ゆかりの資料から見る
抑留・引揚げ



抑留者が着たソ連製の防寒作業着

in 祈 平 岐 念 和 阜 展

無料入場

平成29年

9月13日(水)



9月18日(月・祝)

10:00 ~ 18:00

みんなの森
ぎふメディアコスモス1階
ドキドキテラス

岐阜県岐阜市司町40-5

主催 平和祈念展示資料館(総務省委託)

共催 岐阜市

後援 岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団



「収容所の冬景色」佐藤清画

K.SATO

平和祈念展

in 岐阜

入場
無料

平和祈念展示資料館(東京・西新宿)では、さきの大戦における兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦について理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。「平和祈念展 in 岐阜」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、岐阜県にゆかりのある戦後強制抑留と海外からの引揚げに関する実物資料を特別に展示します。

兵士

さきの大戦において、国のために家族を残し、危険な戦地へ向かい、命をかけて戦務に従事し、大変な労苦を体験された方々です。

千人針

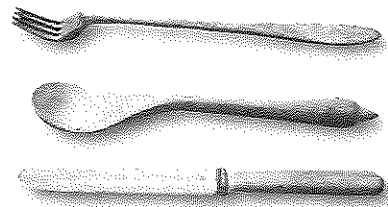


出征する男性のために、女性たちが武運と無事を祈って作ったお守りです。木綿の布に千人の女性たちが一つずつ赤い糸で留を縫いました。

戦後強制抑留者

戦争が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地において、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中で過酷な労働に従事させられた方々です。

手製の
食器類

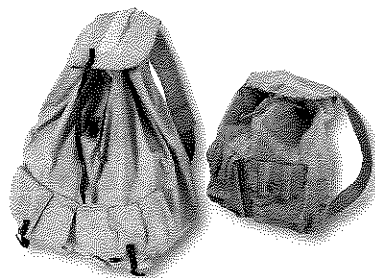


シベリアに抑留中、白樺の木を削って作った食器です。故郷での食事を思いながら作りました。

海外からの引揚者

敗戦によって外地での生活のよりどころを失い、身に危険が迫る過酷な状況の中をくぐり抜けて祖国に戻ってこられた方々です。

リュック
サック



母親たちは、大きなリュックサックを背負い、大きな荷物を持って、子どもを連れて日本を目指しました。

特別展示 岐阜県ゆかりの資料から見る抑留・引揚げ



引揚者が使用した胸章

岐阜県からは、戦前・戦中を通して、軍人・民間人を問わず多くの人びとが海外に送り出されました。

そのなかには、シベリア抑留や引揚げを体験された方も数多くいます。

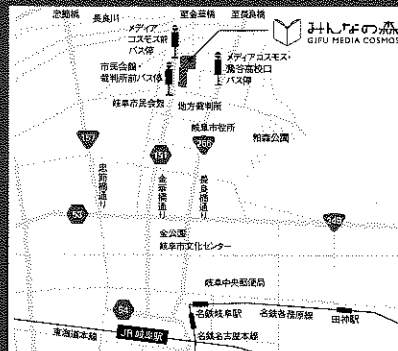
この特別展示では、平和祈念展示資料館が所蔵する岐阜県にゆかりのある関係資料を紹介し、体験者の労苦を伝えます。

みんなの森 ぎふメディアコスモス1階 ドキドキテラス

「平和祈念展in岐阜」

開場時間：10:00～18:00

所在地：岐阜県岐阜市町町40-5



アクセス

■電車でお越しの場合

JR岐阜駅または名鉄岐阜駅より徒歩約25分

■バスでお越しの場合

「メディアコスモス前」「市民会館・裁判所前」バス停下車すぐ

「メディアコスモス・鶯谷高校口」バス停より徒歩3分

◎有料駐車場 約300台 (30分/100円)

※施設利用者は、所定の手続きにて2時間まで無料

ぎふメディアコスモスへのお越しは公共交通機関のご利用をお願いします。

平和祈念展示資料館(総務省委託)

東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 48 階 TEL:03-5323-8709 <http://www.heiwakinen.jp>

入館無料